



ポータブルトイレは種類が多い!!



さて、今月は種類の多いポータブルトイレを、何を基準に選べばいいのかのポイントをお話します。



まず!!ポータブルトイレには**プラスチック製**と**木製**があります。

プラスチック製 軽くて 持ち運びがラク! まるごと洗えて お手入れが簡単!	木製 部屋になじんで 家具に見える! 重量があり、 安定感がある。
--	--

そして!! 以下の**4つのポイント**をチェックすることが大切!

Point 1 座面の高さについて

基本は
座ったときの
ひざ下の長さ



座面が高い場合

座面の高さが高いと
立ち上がりやすくなります。
ただし、体重が足裏全体にかかりにくいので、人によっては座ったとき姿勢が保ちにくくなることもあるので、注意してください。

ひざも楽



座面が低い場合

立ち上がりにくくなりますが床に敷いた布団からの移乗がしやすいです。



よいしょ!

Point 3 便座の種類



体圧分散に
配慮した
標準的な
便座です。



こんな方におすすめ!
・お尻の肉が
痩せている方
・長時間便座
に座る方



こんな方におすすめ!
・高血圧の方
・心臓が弱い方
・脳卒中の
既往歴がある方



こんな方におすすめ!
・男性で座って
排尿する方
・小柄な女性で
奥まで
座れない方

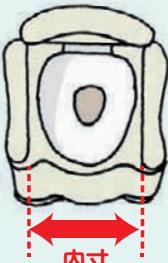


[全ての便座]

- ・便座の中央に座ってください。人によっては座位バランスをくずす可能性があります。
- ・移乗時に便座を手をつかないでください。特に便座カバーを付けていると、すべる場合があります。
- ・【あたたか便座】
・長時間の着座は低温やけどを招く場合があります。特に麻痺のある方は皮膚で温度を感じづらくなっています。

Point 2 ひじ掛け内寸について

基本は
姿勢保持と
動きやすさの両立



内寸が狭い場合

座ったときの姿勢が保ちやすい。
ただし、狭すぎるとお尻を拭く、ズボンを下ろすなどの動作がしづらくなります。



着込みすぎて拭けないわ...

内寸が広い場合

動作がしやすくなるが広すぎると、
姿勢を保ちづらい場合も。



移乗もスムーズだね

Point 4 移乗のしやすさ

●はね上げタイプ
(主に介助により移乗する方向け)



ひじ掛けが
上がり、
ひろびろ
スペース

●昇降タイプ
(主に自分で移乗する方向け)



下げた
ひじ掛けが、
移乗後自分で
戻しやすい



移乗時のポータブルトイレ事故の主な原因

- ・移乗動線上にひじ掛けがあったため、お尻や腕を打撲。
- ・麻痺側の弛緩した腕が振れてしまったため、背もたれなどへの打撲や巻込み。
- ・介助者が拘縮した脚に配慮せずに移乗介助したため、ベッドフレームや車イスのフットレストへの接触・巻込み。

